

(様式1)

自己評価表

 今治東中等教育学校
 学校番号(50)

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）	カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
○自分の個性（好きなこと、得意なこと、優れていること）を知り、努力して伸ばそうとする人を育てます。 ○グローバル社会を生き残るために必要な人権感覚を持ち、自分と他の人を共に認め、共によりよい社会を築こうとする人を育てます。 ○持続可能な社会づくりに貢献するために、必要な学力や教養を身に付けた、行動力や創造性を持った人を育てます。	○前期課程（中等部）では、習熟度別講座での学習により、基礎学力の定着を図ります。また、「総合的な学習の時間」等での多様な体験を通して、卒業後のビジョンを持たせます。 ○後期課程（高等部）には、「文理コース」と「スポーツコース」を設置します。「文理コース」には「ヒューマニティーズ類型（文科系）」と「サイエンス類型（理科系）」を、「スポーツコース」には「アスリート類型」と「スポーツマネジメント類型」を設けて、より専門的な学習を行うことで、卒業後のビジョンの実現を図ります。 ○3年生（中3生）と4年生（高1生）が合同で行う「総合的な学習/探究の時間」等の専門的で継続的なプログラムによって、生徒の個性を伸ばします。 ○前期課程から大学や官公庁、企業、NPO等と提携した活動に参加することによって、専門的で体系的な学習を推進し、身に付けた知識を行動につなげる力を養います。 ○各種コンテストやコンクールへの参加、検定や資格取得を奨励し、持続可能な社会づくりに生かすことができる行動力や創造性を培います。 ○幅広い年齢層の生徒が共に活動する学校行事や部活動を通して、協調性を養い、自分と他の人を共に認め、共によりよい社会を築こうとする意欲を培います。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
シグ ョラ ンデ ー・ ユ ボ エ リ	グラデュエーション・ポリシーの達成	グラデュエーション・ポリシーに沿って生徒が成長していると感じる教職員の割合7割以上			
確 かな 学 力 を 育 て る 教 育 の 推 進	学習習慣の確立と基礎学力の定着	クラウドサービスを活用して自学自習の習慣化を図るといったICTの長所を生かした工夫等により、基礎期(1・2年)90分以上、充実期(3・4年)120分以上、発展期(5・6年)180分以上の学習時間確保者60%以上を目指す。 A：60%以上 B：59%～55% C：54%～50% D：49%～45% E：45%未満			
		分かる授業を心掛け、週末課題を工夫することにより、全国学力・学習状況調査（3年生）での正答率70%以上を目指します。 A：70%以上 B：69%～65% C：64%～60% D：59%～50% E：50%未満			
	進路指導の充実と進路目標の実現	過去の進路情報を十分に活用し、進学、就職ともに進路実現率100%を目指します。 A：100% B：99%～97% C：96%～95% D：94%～93% E：93%未満			
		早期から個別指導を充実させ、国公立大学合格者数25名以上を目指す。 A：25人以上 B：24人～20人 C：19人～15人 D：14人～10人 E：9人以下			
豊 かな 人 間 性 を 育 む 教 育 の 推 進	部活動の充実と豊かな心の育成	朝読書を有効に活用し、図書の出借冊数を増やし、年間読書冊数、一人平均10冊以上を目指す。 A：10冊以上 B：9冊～8冊 C：7冊～6冊 D：5冊～4冊 E：3冊以下			
		県高文祭に出場する生徒45名以上を目指す。 A：45人以上 B：44人～40人 C：39人～35人 D：34人～30人 E：29人以下			
		四国選手権に出場する生徒後期課程7部門以上、県総体に出場する生徒前期課程5部門以上を目指す。 A：後期7部門以上 前期5部門以上 B：前後期合計 目標-2部門まで C：前後期合計 目標-4部門まで D：前後期合計 目標-6部門まで E：前後期合計 目標-7部門以下			
		全国大会に出場する生徒、前期課程3部門以上、後期課程5部門以上を目指す。 A：前期3部門以上 後期5部門以上 B：前後期合計 目標-1部門まで C：前後期合計 目標-2部門まで D：前後期合計 目標-3部門まで E：前後期合計 目標-4部門以下			
	特別活動の充実と連帯感・自己有用感の育成	運動会・青祭祭（文化祭）など、学校行事に積極的に参加し、楽しめる生徒100%を目指します。 A：100% B：99%～90% C：89%～80% D：79%～75% E：75%未満			
	基本的な生活習慣の確立	自身による健康管理とともに、学校生活への目的意識の向上を図り、年間30日以上欠席の長期欠席者の改善を目指します。また、生活習慣の乱れによる遅刻などをなくしていきます。			
グ ロ ー バ ル 社 会 で 輝 け る 人 間 育 成 の 推 進	望ましい集団作りの推進	いじめの早期発見・早期解決を図り、いじめ問題未解決ゼロを目指します。			
		各種英語検定に積極的に取り組ませ、実用英語検定等において、前期課程ではCEFR A1以上30名、後期課程ではCEFR B1以上20名を目指す。 A：前期30名以上 後期20名以上 B：前後期合計 目標 -5名まで C：前後期合計 目標 -15名まで D：前後期合計 目標 -20名まで E：前後期合計 目標 -21名以下			
	地域貢献できる人材の育成	漢字検定に積極的に取り組ませ、漢字検定合格者数を前期課程では3級で受験者の80%以上、後期課程では2級で受験者の70%以上を目指します。 A：前期80%以上 後期70%以上 B：前後期平均 目標 -5%まで C：前後期平均 目標 -10%まで D：前後期平均 目標 -15%まで E：前後期平均 目標 -15%未満			
		国際理解セミナー、スピーチコンテスト、英語セミナー、などの英語イベントに参加した生徒の満足度100%を目指します。 A：100% B：99%～90% C：89%～80% D：79%～75% E：75%未満			
業 務 改 善	適切な勤務時間の奨励	行事・会議等の精選、業務の効率化、過重労働の防止など、働き方改革を進めます。			
	職場環境の整備	衛生委員会や健康相談、管理職面談等を通じ、教職員の疲労や心理的負担を把握し、軽減を図ります。			

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。